

【静岡・新型コロナ】東部が感染拡大注意報レベルに 県全体は1週間 約5800人で前週比増加

7/07 テレビ静岡



静岡県は7日 新型コロナウイルスの感染状況について、東部が注意報レベルに達したと発表しました。保健所別では熱海保健所管内（熱海市・伊東市）と御殿場保健所管内（御

定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜5週間の推移＞

保健所名	定点医療機関数	第22週 (5/29~6/4)	第23週 (6/5~6/11)	第24週 (6/12~6/18)	第25週 (6/19~6/25)	第26週 (6/26~7/2)	前週比推移	県独自の注意報レベル
賀茂	3	4.00	3.00	4.33	7.00	10.33	↓ ↑ ↑ ↑	13以上
熱海	6	8.50	8.33	11.17	15.00	11.17	↓ ↑ ↑ ↓	9以上
東部	20	5.85	3.60	6.40	5.65	6.85	↓ ↑ ↓ ↑	8以上
御殿場	6	9.33	13.33	10.50	19.83	22.67	↑ ↓ ↑ ↑	17以上
富士	15	4.53	6.13	11.33	8.20	10.27	↑ ↑ ↓ ↑	11以上
県東部地域	50	6.08	6.06	8.82	9.32	10.50	↓ ↑ ↑ ↑	10以上
静岡市	25	2.16	2.92	4.56	4.68	4.88	↑ ↑ ↑ ↑	6以上
中部	17	2.12	1.65	3.24	4.00	4.71	↓ ↑ ↑ ↑	8以上
県中部地域	42	2.14	2.40	4.02	4.40	4.81	↑ ↑ ↑ ↑	7以上
西部	19	2.47	3.05	3.58	4.05	5.11	↑ ↑ ↑ ↑	10以上
浜松市	28	2.11	2.21	3.39	2.86	3.25	↑ ↑ ↓ ↑	7以上
県西部地域	47	2.26	2.55	3.47	3.34	4.00	↑ ↑ ↓ ↑	8以上
県全体	139	3.60	3.77	5.56	5.81	6.58	↑ ↑ ↑ ↑	8以上

殿場市・小山町) が注意報レベルとなっています。ともに前週に続いてです。

7月2日までの1週間の県全体の感染数は約5800人、1日平均約830人と推計され、週間で前週より700人増加しています。

静岡県によりますと、6月16日~7月2日の定点医療機関あたりの感染者は6.58人で、前週の5.81人を上回っています。

全国平均は7.24人、隣県の愛知県は9.16人、神奈川県は6.30人で、静岡県は全国平均

や愛知県よりは少ないものの、神奈川県より多くなっています。

この1週間に県内の医療機関139施設から報告された感染者は915人（前週808人）です。この数字をもとに推計した県内の週間感染者は約5800人（1日平均約830人）で、前週の約5100人（1日平均約730人）と比べ、約1.14倍となっています。

定点医療機関あたりの感染者数を地区別にみると、東部10.50人・中部4.81人・西部4.00人で、東部は地区別の注意報レベル（感染者急増のおそれがある状況）の基準「10人以上」に達しています。

特に御殿場保健所管内（御殿場・小山）は22.67人と感染拡大が続いているほか、熱海保健所管内（熱海・伊東）は11.17人で前週よりは減少しているものの注意報レベルが続いています。

県は、注意報レベルの地域では、以下の点に留意するよう呼びかけています。

- ・医療機関受診時や高齢者施設など訪問時のマスク着用
- ・急に体調が悪くなった場合には、仕事や学校を休み自宅で休養を
- ・人が集まる所では換気に注意し、咳・くしゃみが出る時は、ハンカチで口を押えるなどの咳エチケットを

◆インフルエンザ 流行が終息

6月26日～7月2日の定点医療機関あたりの感染者は0.54人で、前週の0.79人に比べ減少しています。流行期を示す1人を2週連続で下回り、県は「インフルエンザの流行は終息したとみられる」としています。2022～2023年シーズンは流行期が6月まで続き、記録が残る2006年以降で最も長く流行が続きました。ただシーズンの患者数は9990人で、前回例年並みの流行がみられた2018～2019年の4万3123人に比べ、大幅に減少しています。

◆ヘルパンギーナは警報レベル続く

6月26日～7月2日の定点医療機関あたりの感染者は8.78人で、前週の10.12人から減少しているものの、依然として警報レベルです（開始基準値6人）。